

令和4年度 第 1 回役員会

- 1 日 時 令和4年6月10日(金) 19:00 ~ 20:30
- 2 場 所 三宮センタープラザ 西館 6階 第4会議室
- 3 出席者 金治会長、古川副会長、新見副会長
常任幹事(浅野、田中、溝口、中屋、森田、上田、奥西)
KTC 理事(室井副理事長、水口理事、尾原理事、池野監事)
大学代表(織田澤専攻長、瀬木教学委員)
暁木会顧問(濱村顧問)

4 議事内容

(1) 令和3年度総会 (資料1)

- ・新型コロナウイルス感染症対策を鑑み、規模を縮小した上で開催。全ての議事を承認。
- ・新型コロナウイルス感染症に対する社会情勢、感染対策、行動制限等の状況を鑑みながら、総会等の行事の開催手法等について継続的に検討が必要。
- ・大学関係者の参加が限定的であり、より多くの大学関係者が参加できる形式について検討する。

(2) 年間行事予定 (資料2)

- ・例年ベースでの行事予定を見込んでいる。
- ・東京支部総会が Web を併用し約 40 名参加のもと開催(6/3)。

(3) 暁木会ニュース目次案 (資料3)

- ・資料 記載の目次案により進めていく。
- ・「スタートライン」の執筆候補者が未決定のため推薦を依頼。

(4) 暁木会を取り巻く継続的な課題 (資料4)

① 会費会員の増強

- ・毎年数十人の会員が減少する状況を踏まえ、会費会員の増強が必要と認識
- ・今年度は名簿作成年度であるため、各職域を通じた名簿情報の収集に併せ、過年度の手法を参考に会費会員への勧誘を強化する
- ・会員が参加する行事や大学の卒論発表会等での勧誘活動も実施予定。

② 名簿発行方法について

- ・名簿の発行コストの高騰を踏まえ、電子メール等での名簿情報の配信を検討してきたが、具体的な配信手法、会費会員のニーズへの対応、個人情報等の課題、さらにコスト面でも整理が必要な状況であり、今年度は従前どおり紙

媒体での名簿発行とする。ただし、電子媒体での名簿配信に向けた検討は継続的に実施する。

- ・名簿作成に要する費用が予算額を超過する見込みになるが、前期繰越金から充当する形で対応し、総会にて決算報告する。

(KTC 理事から)

- ・発行媒体がどうあるべきかという議論と、信頼度をどう上げるかという議論がある。会員各自が更新するシステムでは、情報が更新されにくく、情報鮮度に問題が生じることを危惧する。
- ・会報の配布など、暁木会活動を行う上で勤務先や住所等の情報は把握しておく必要があり、データ自体の取得は必要。公開のあり方については引き続き検討が必要。

③暁木会ニュースの発行回数について

- ・R3 年度はコロナ禍により同窓会や各種イベントの開催が見送りになっており、掲載記事の収集に苦心した。
- ・従来、名簿発行年は3回／年発行してきたが、R4 年度も前述の状況が継続すると見込まれるため、例外的に名簿発行年度である今年度においても2回／年の発行とする。

(5) 大学側からの情報提供

(大学側から)

- ・コロナ禍もあり、導入教育に対する KTC からの支援金を執行できていない状況だったが、今年は状況が改善してきたため、2, 3年生にも対象を広げたくて秋頃に現場見学会を実施したい。受け入れ可能な現場があればご協力頂きたい。
- ・学生の研究環境の改善を目的として、一部教室の壁を撤去し大部屋数を増やすため、暁木会からの振興基金を充当したいが問題ないか確認したい。
- ・図書館で保管していた諸先輩方の卒論・修論について、現在教室の空きスペースに保管中。いずれは希望者へは閲覧できる状況にしていければと考えている。
- ・100 周年で学科ゆかりのモニュメントとして古いトランシットを指定しており、今回、継続的に玄関付近にガラスケースに保管のうえ展示するため、その費用として寄付金を充てたいと考えている。

(会長から)

- ・現場視察について暁木会にお声がけ頂ければ全面的に協力する

(一同)

- ・暁木会からの振興基金については、大学側で意義のある使い方をしてもらえばよく、使途については特に問題ない

(6) 大学側との意見交換会（資料5）

- ・7月14日（木）に開催予定
- ・極力先生方も参加しやすい教室会議直後の時間に開始する方向で調整中。
- ・会費会員の増強に関し、学生へのPRなども要望させて頂く予定。

（会長から）

- ・より多くの先生にご出席頂けるよう、お声がけをお願いしたい。暁木会として交流させて頂く機会が少ないため、忌憚のない意見交換ができることを期待。

(7) その他

- ・神戸大学工学部100周年記念誌への世代ごとの寄稿予定者について報告。